



障がい者ピア座談会

「災害が起こったときについて考えていますか？」

令和7年1月26日(日)に、あいネットいみずで、第3回障がい者ピア座談会を開催しました。

今回は、「災害が起こったときについて考えていますか？」をテーマにしました。令和6年1月1日に起こった能登半島地震を振り返り、皆さんの日頃からの災害への備えについて話し合いました。



まず始めに、令和6年1月1日の能登半島地震が起こったときの自分の行動について振り返りました。机の下に隠れた、家族に電話をかけて安否確認をした、避難所で2日間まで寝泊りをしたなどの話が出てきました。その日のことを鮮明に覚えておられ、皆さんにとって、衝撃的な一日だったと感じました。

次に日頃の災害への備えについて話し合いました。多くの方が、自宅からの避難場所を確認し、家族と共有したと話されていました。また、本棚の整理をして地震で倒れてこないように対策をしたり、玄関にランタンと新聞紙で作った手作りのスリッパを用意されたりした方もいました。



非常食の試食会では、美味しいものが多く、感激している方がいました。



座談会の最後の感想では、「今日の座談会をきっかけに、災害への備えについて考え直したい」「地震の際の自分の行動を考える機会となった」「今回のような話し合う機会があったら、また参加したい」と、意見をいただきました。

今回参加していただいた皆さん、ありがとうございました。